

学院福音化 2022年2月 あらかじめ征服

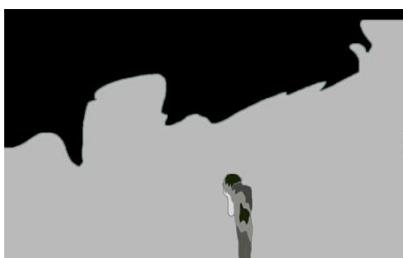
学院福音化メッセージでは、5つの「あらかじめ」を見ています。

1. あらかじめ見る
2. あらかじめ持つ
3. あらかじめ味わう
4. あらかじめ征服
5. あらかじめ成就

この中の「あらかじめ征服」を見ます。

この5つの「あらかじめ」は、私と私たちのものではなく、完全に「神様のもの」です。

その神様のものが、創世記1:27、28にあるように、「神のかたち」として造られた私たちに、すでに「あらかじめ」は与えられていました。



しかし、創世記3章にあるように、アダムとエバが、善悪の知識の木の実を取って食べた事件によって、私たちは、神のかたちを失い、あらかじめ征服する祝福も失ってしまったのです。

そこで「女の子孫」(メシヤ、キリスト)つまり、イエス様の十字架の死と復活によって、それを信じる私たち、すなわち「永遠の前から神の民として選ばれた私たち」には、すでに創世記1:28の「あらかじめ征服」の祝福は回復しています。今月はその「あらかじめ征服」を味わいましょう。



2月の学院福音化的メッセージの序論で、3つのこと語られました。

1. 3 9 3
 2. メモ (みことば、祈り、伝道)
 3. 未来を見る
- 3, 9, 3を24時祈って、書かなくてもよいほど、自分に生活の中に「みことば、祈り、伝道」が記録されているなら、未来を見ることができます。

そのことをひとつずつ見てみましょう。

1. 3 9 3 (いちにち ぶん ふん いの いの) (一日、3分でも5分でも、呼吸を意識しながら祈りましょう)

3 は三位一体の神様のことです。(聖書に三位一体のことばはありませんが、聖書から神様は三位一体のかただということがわかります) 三位一体の神様については、すべて伝えることはできないのですが、簡単に「救い」に関してのことを伝えます。

三位一体の神様

神様が3つなのではありません。本質はただひとりの神様です。
救いに関して見ます。

1) 聖なる父(救いの計画)

永遠の前から「救いの計画を立ててくださった」神様です。御子イエス様と聖霊を私たちに送ってくださいました。

2) 聖なる御子(救いの成就)

父なる神様が立ててくださった「救いの計画を成就してくださった」のが聖なる御子です。十字架を通して成就してくださいました。十字架につけられ、血を流し死んで、三日目に復活することによって、神様の救いの計画を成就してくださったのです。十字架の上でイエス様は「完了した」(ヨハネ19:30)と言われたのは、この救いの計画を成就した、完了したということです。

3) 聖なる御霊(救いの適用)

成就した救いの計画を、今も働いて適用してくださる方が、聖なる御霊です。
「聖霊によるのでなければ、だれもイエスは主ですと言うことはできません」(コリント12:3)
と書かれています。「主は生ける神の御子キリストです」と告白できるのは、聖なる御霊(聖霊様)が働いてくださったからです。

この三位一体の神様は「すでに私とともにおられます」そのことを覚えてお祈りしましょう。



⑨ (5つの力、御座)

最初にメッセージを通して与えられたのは、
○御座の祝福、時空を超えた答え、237光、

○神のかたち、土で造られた人間にいのちの息を吹き入れてくださった祝福、創造の祝福
○空前絶後

のメッセージでした。



それを簡単に「5つの力と御座」と語られました。

聖靈の満たしを求めてつづ、次のように祈りましょう。

1) 5つの力

「靈力、知力（知恵）、体力、経済力、出会いの祝福（人材力）」の5つの力を祈りましょう。

2) 御座の祝福、時空を超えた答え、237光

御座の祝福を味わえるように祈りましょう。

これは、熱心にどこかに祈って求めて受けることではありません。神様が聖靈を通して、神の子どもの中に入って来ておられます。すでに、心の中に御座の祝福はあるのです。他のところで探して求めて得ようとして、私の内にいつもともにおられる神様に向かって、「私にある御座の祝福を味わえますように」と祈ればよいのです。

時空を超えた答え

祈りでなんでもできます。それが時空を超えた答えです。地球の反対側にいる人々、国々のために祈ることが、時空を超えた答えです。世界福音化は神様がなさってくださいますが、そのために祈り、知っている宣教師先生や国のために祈りましょう。（最近、トンガで火山の大噴火がありました。その影響が日本にもありましたが、トンガには、タラッパンの宣教師家族がおられます。そのためにお祈りしましょう）

237光

すでに、私の中に「いのちの光、創造の光」が臨んでいるので、味わいましょう。

3) 私、教会、現場（学業）の空前絶後

ここに空前絶後の答えがあるように祈りましょう。

私たちひとりひとりは、70億の人口の中で「たったひとり」しかいません。

同じような人はいません。そのような私に三位一体の神様がおられる、そ

のこと自体が「空前絶後の答え」です。ですから、私の空前絶後の答え、

そのような私がいる教会の空前絶後の答え、私がしている勉強（できる、できない関係なく）その中に空前絶後の答えがあることを覚えましょう。



3 (3時代)

1) 牧会者時代

2) 重職者時代

3) レムナント時代

牧会者、重職者、レムナントを通して、神様の世界福音化のみこころが成し遂げられるように祈りましょう。

この時代に残された神様を信じる人はみんな（牧会者、重職者、子どもたち）レムナントです。

子どもたちは、成長したら重職者、牧師、宣教師になるでしょう。

それゆえ、レムナントとして祈り、教会を生かす重職者としての祈り、牧師先生、宣教師先生のために祈る必要があります。



2. メモ (みことば、いの、でんどう)

書かなくてもよいメモになるようにしましょう。

IIコリント 3:2-3

私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にするされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御靈によって書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。

福音を信じて、福音を持っている人は、神様の「推薦状」、その人を通してキリストを知る「キリストの手紙」です。すばらしいわざ、作品を残すからではありません。生活、人生自体が「ただキリストだけ」を説明する手紙であることを覚えましょう。

「イエス様を信じている」「イエス様がすべての問題の解決者」と言わなくても、生活を通して他の人に知られる、読まれるキリストの手紙になっていることを覚えましょう。（御靈によって書かれたので）

3. 未来を見る

3, 9, 3をいつも自分の祈りとなって、キリストの手紙の人生なら、未来を見るようになります。

ヘブル 11:1

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。
信仰によって見えないことが私のものになるのです。



未来を見るとは、

ーいま、いるところ

ーいま、やっていること

ーいまの時刻表が **征服の座** ということです

すでに新しい天と地、新しいエルサレムの天国に行く神の民です。

その未来が、いま、すでに私のものになっています。

黙示録に書いてあるように、苦難、飢饉、いろいろあっても、神様は私たちを天国の民として、キリストの新婦として、永遠の天国に導いてくださいます。それが未来のことですが、完全にいま、成し遂げられています。ですから、どんなにいまが苦しくても、つらくても、どんなところにいてもすでに「征服の座」についているのです。これを信じましょう。



世界征服するために熱心にがんばる必要はありません。

神様のために、自分の力を出してなにかをしようとする必要はないのです。

では、なにをするのでしょうか。

イエス様が言われたことを見ましょう。

ヨハネ 6:29

イエスは答えて言われた。「あなたがたが、**神が遣わした者を信じること**、それが**神のわざ**です。」

ヨハネ 6:40

事実、わたしの父のみこころは、**子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです**。わたしはその人たちをひとりひとり終わりの日によみがえらせます。」

ヨハネ 17:3

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストと**し**を知ることです。

ただイエスがキリストであることを信じること、これが私たちがすべき第一のことです。